

中国景気概況(2021年11月)

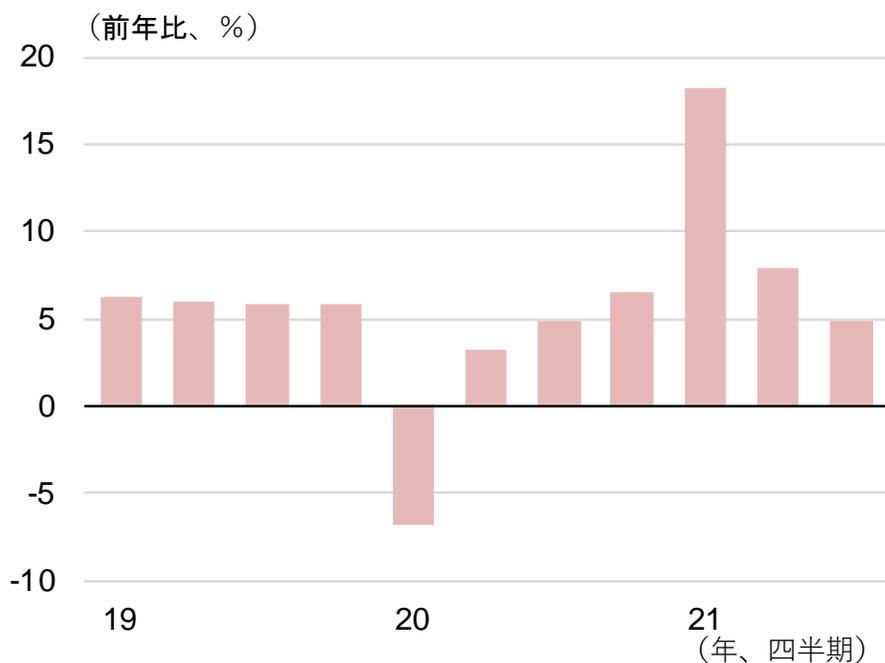
2021年11月2日

調査部 研究員 丸山 健太

景気は減速、PMIは低下

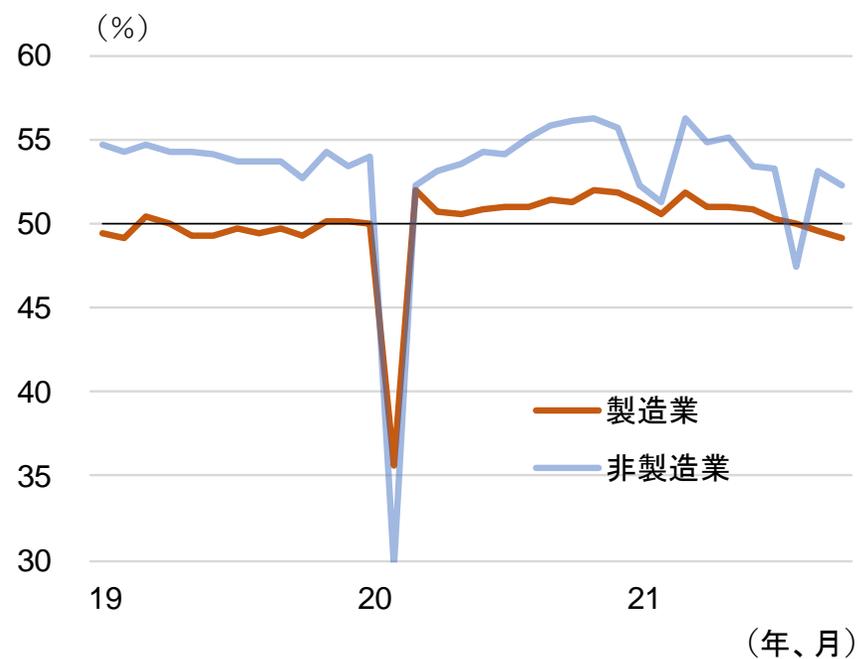
中国景気は減速している。2021年第3四半期の実質GDP成長率は前年比+4.9%と、前期の同+7.9%から大きく鈍化した。新型コロナウイルス感染症の再拡大によるサービス消費の低迷、半導体不足・電力不足による製造業の生産停滞、資源価格高騰を背景としたコスト高による企業業績の悪化などが下押し要因となった。10月のPMIも、製造業、非製造業とも前月から低下、製造業は2ヶ月連続で50を下回るなど、第4四半期に入り、景気は一段と減速している。

実質GDP(四半期)



(出所) 国家統計局

PMI



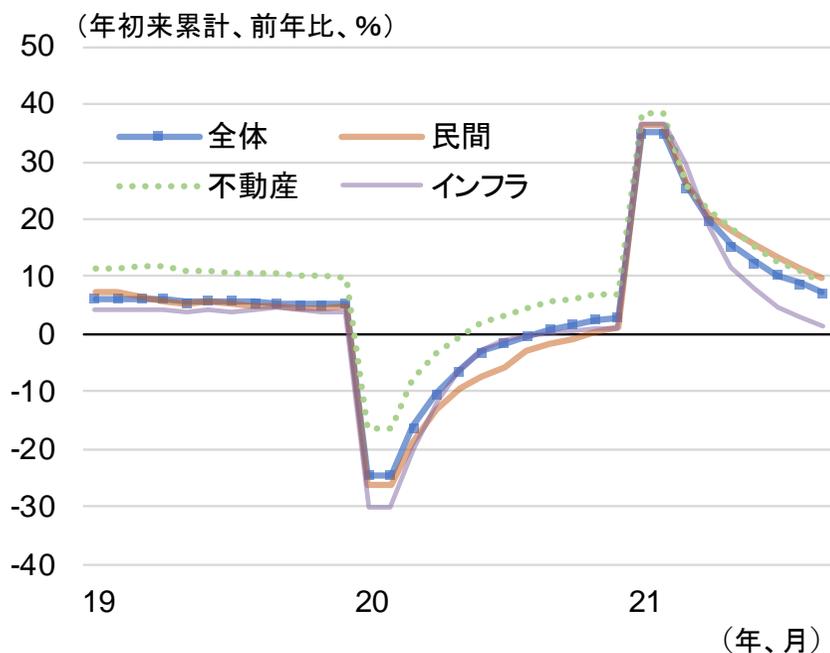
(出所) 国家統計局

固定資産投資、生産は増加幅の縮小が続く

9月の固定資産投資(年初来累計値)は、前年比+7.3%と増加幅が縮小した。コロナ禍の影響を除いた2年前比でみると、投資全体の5割強を占める民間投資は堅調を維持しているが、不動産投資やインフラ投資の伸びは足元で鈍化した。

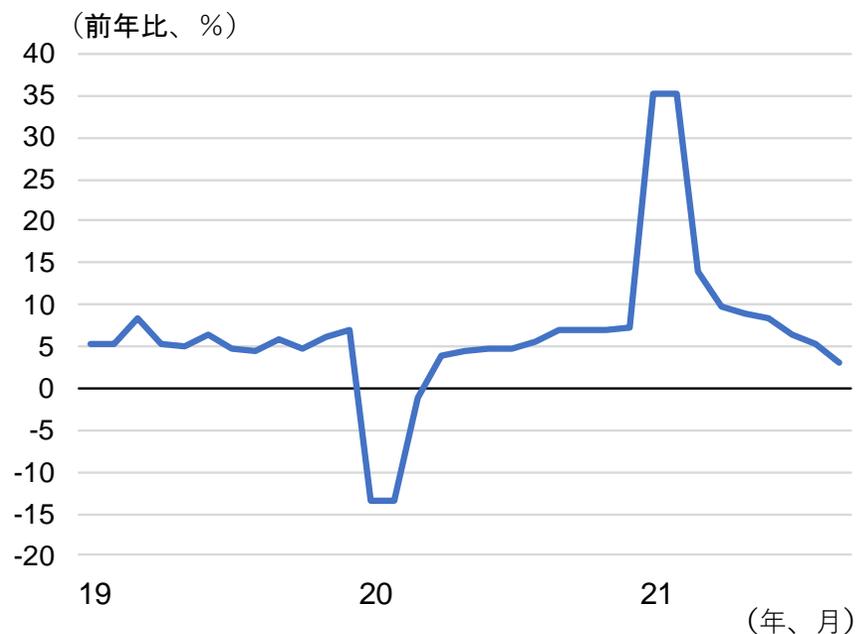
9月の工業生産も前年比+3.1%と増加幅が縮小した。医薬品製造業やコンピューター・電気機械製造業などの増加が全体を押し上げた一方、半導体不足・電力不足を背景に自動車製造業や鉄鋼業の落ち込みが目立った。

固定資産投資



(出所) 国家統計局

工業生産



(出所) 国家統計局

消費は回復に足踏み、物価は小幅上昇

9月の小売売上高(名目)は前年比+4.4%と、増加幅はやや拡大した。もっとも、飲食サービス消費は同+3.1%と小幅増加にとどまったうえ、3連休(中秋節)の旅行の人出は2019年の9割弱にとどまるなど、接触型サービス消費の回復は遅れている。10月も感染拡大が続いており、消費は当面鈍い動きが続こう。

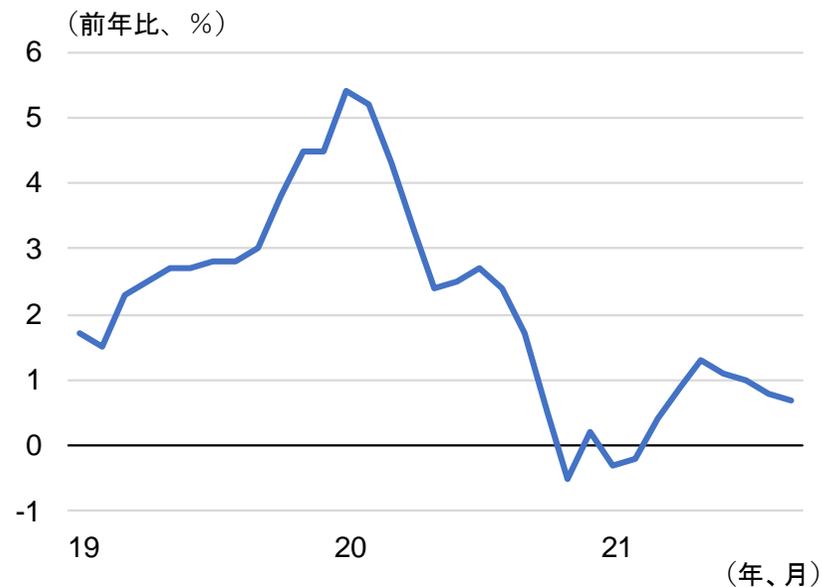
9月の消費者物価上昇率は前年比+0.7%と、上昇は小幅にとどまった。豚肉価格の下落が物価を押し下げている。

小売売上高(名目)



(出所) 国家統計局

消費者物価指数



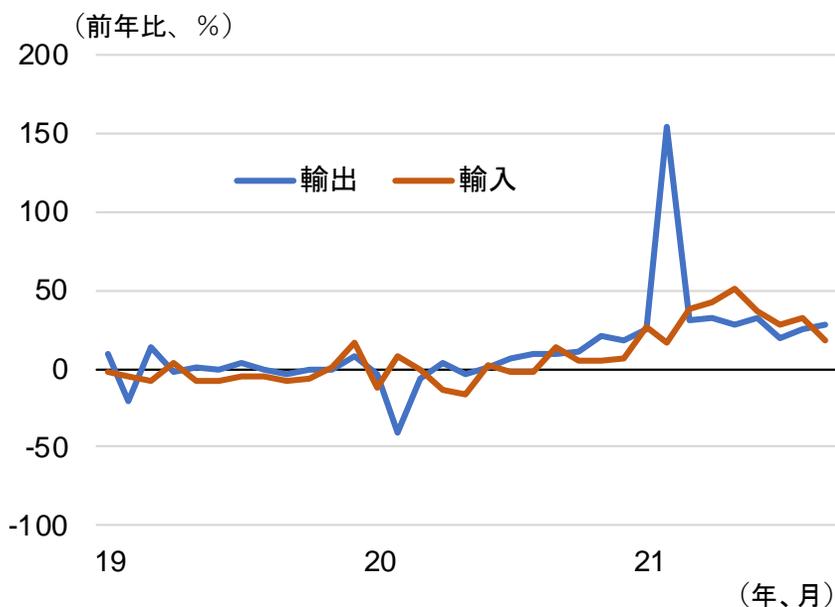
(出所) 国家統計局

輸出入とも増加が続く

9月の輸出は前年比+28.1%、輸入は同+17.6%と増加が続いた。貿易黒字は668億ドルと、前年同月(370億ドル)から大きく拡大した。輸出は、品目別では半導体など電子部品の寄与が、地域別では米国やASEAN向けの寄与が、それぞれ大きかった。また輸入は、電力不足解消のため調達を進める石炭や、需要が強い電子部品の増加が目立った。

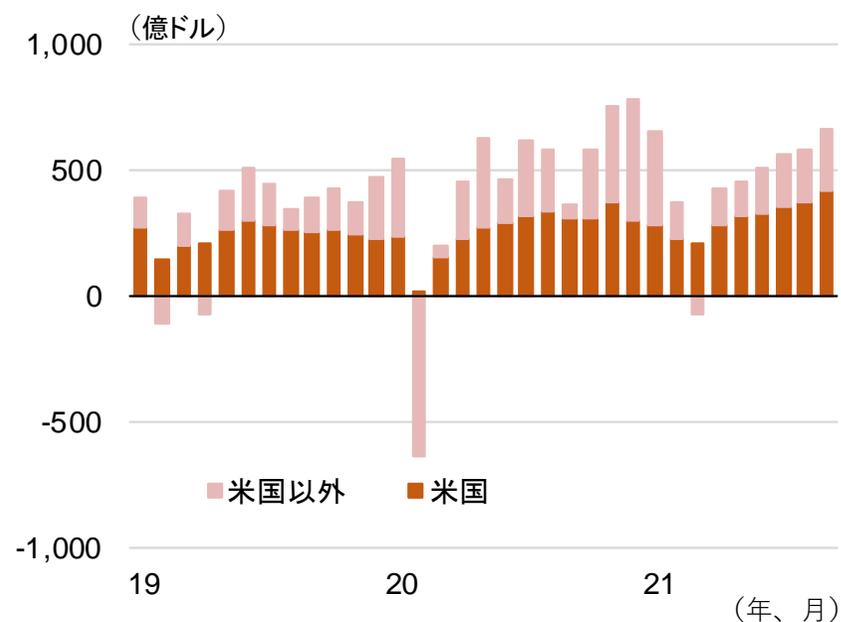
貿易収支は、対米国、対EU、対香港といった取引額の大きい貿易相手国との黒字幅の拡大が大きかった。

財輸出入



(出所) 海関総署

貿易収支



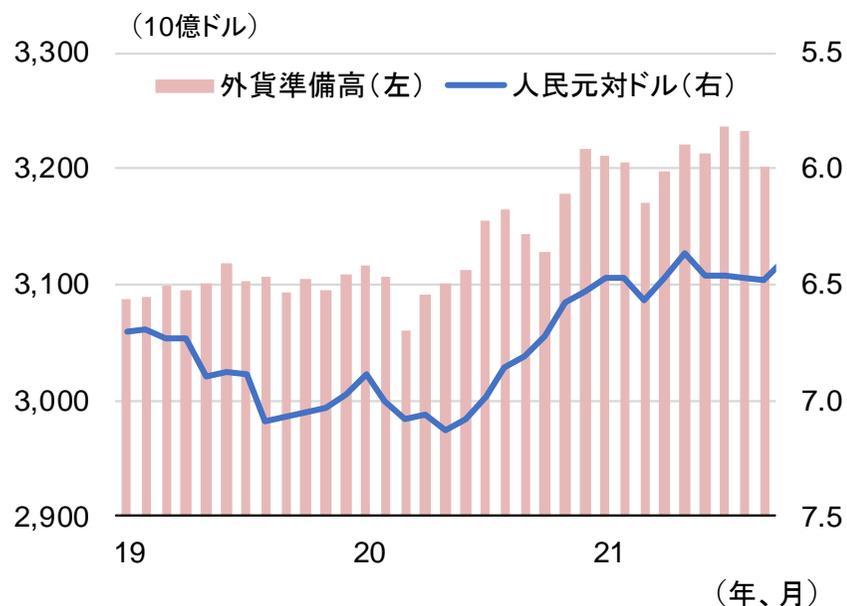
(出所) 海関総署

為替はドル安・元高、株価は月末に下落

人民元の対ドルレート(10月末値)は1ドル=6.39元と、10月後半にかけてドル安・元高方向に動いた。米長期金利の一本調子の上昇傾向に歯止めがかかったことにより、ドルが対人民元で売られた。9月末時点での外貨準備高は、3兆2006億ドルと減少した。

10月の上海総合株価指数は、コロナ感染再拡大を背景に景気の先行き不安が広がり、月末にかけて下落した。

外貨準備高



(出所) 中国人民銀行

上海総合株価指数

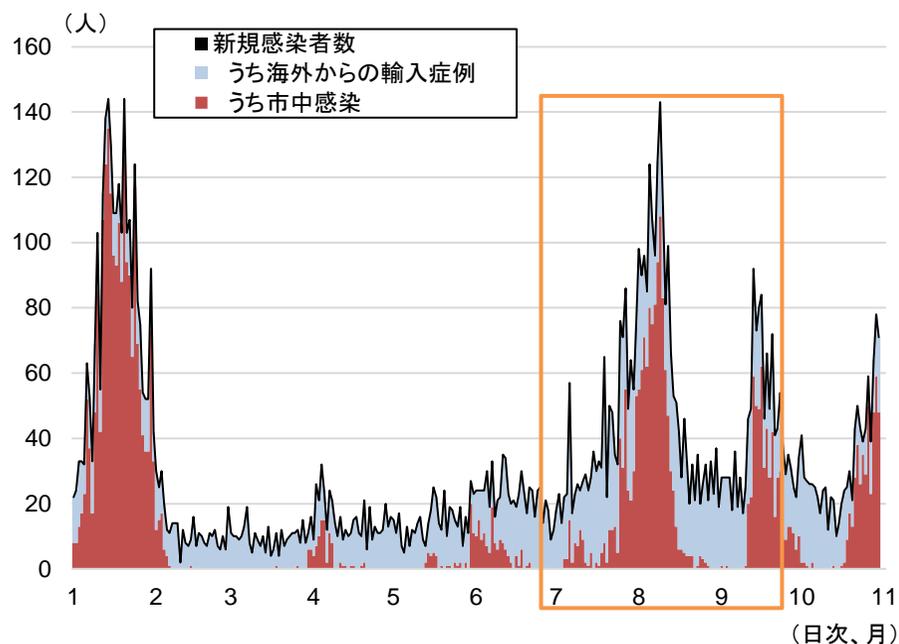


(出所) 上海証券交易所

中国経済減速の3要因 ①新型コロナ再拡大で接触型サービス消費が低迷

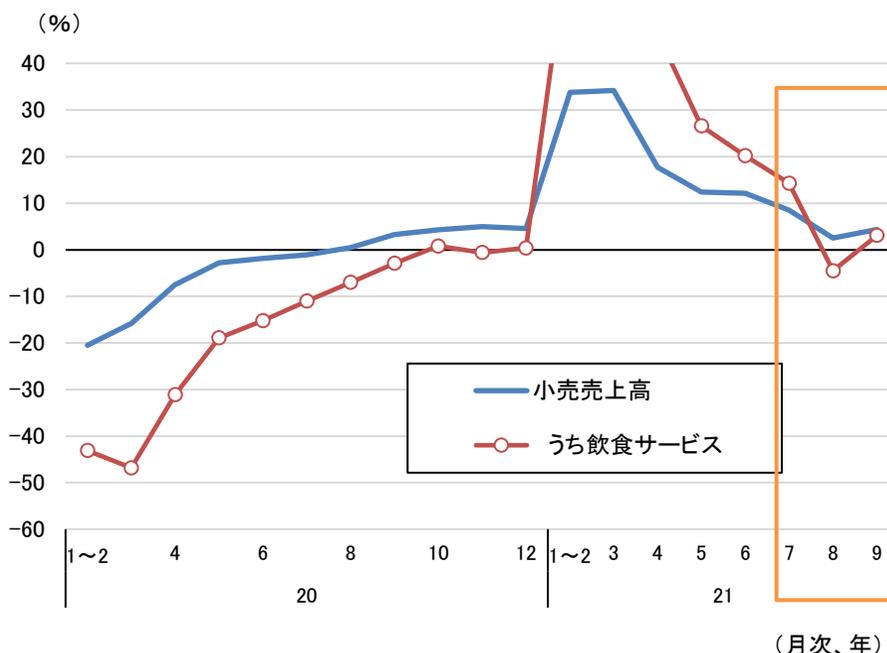
2021年第3四半期の中国経済減速(1頁参照)の背景に、3つの要因が挙げられる。第一に、新型コロナウイルス感染症の再流行による接触型サービス消費の落ち込みである。7月後半から8月にかけて広東省で、9月には福建省を中心に市中感染の拡大がみられたことで(左図)、飲食サービス業の売上高は8月に前年割れするなど低迷し(右図)、また9月の3連休(19~21日、中秋節)での旅行の人出も、2019年の9割弱の水準にとどまった。10月の大型連休(1日~7日、国慶節)での旅行の人出も、2019年の7割程度と低水準が続いており、10月以降もサービス消費は低迷が続く公算が大きい。

新型コロナウイルス新規感染者数



(出所) 国家衛生健康委員会

小売売上高(前年比)



(注) 21年1~2月、3月、4月はそれぞれ前年比+68.9%、同+91.6%、同+46.4%と、前年の落ち込みの反動で上振れた。

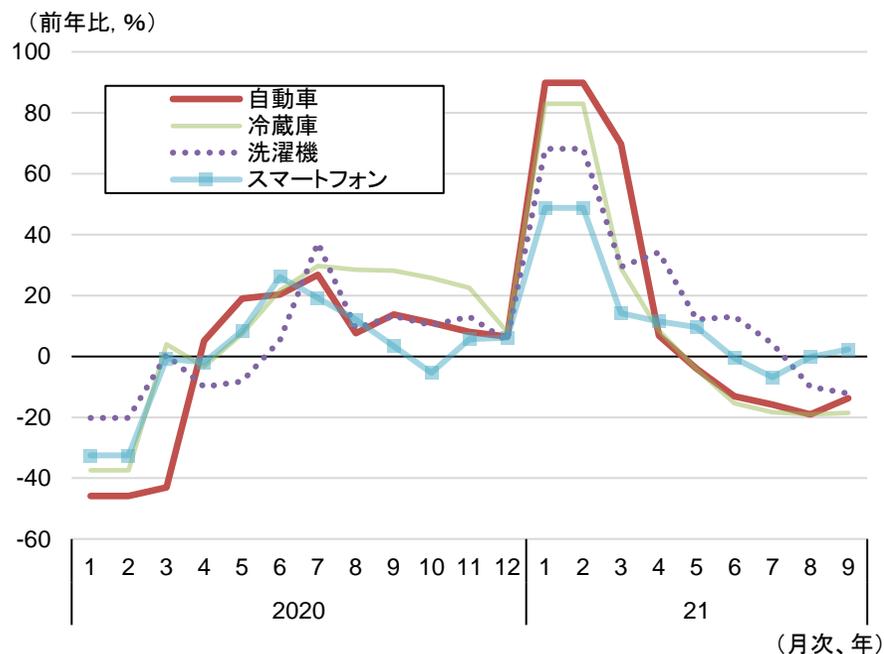
(出所) 国家統計局

中国経済減速の3要因 ②半導体不足と③企業の収益環境の悪化

第二に、半導体不足・電力不足である。これを受けて製造業の一部業種で減産を余儀なくされた。特に自動車への影響が大きく、冷蔵庫などの白物家電、スマートフォンの生産も月によって前年割れするなど低迷した(左図)。

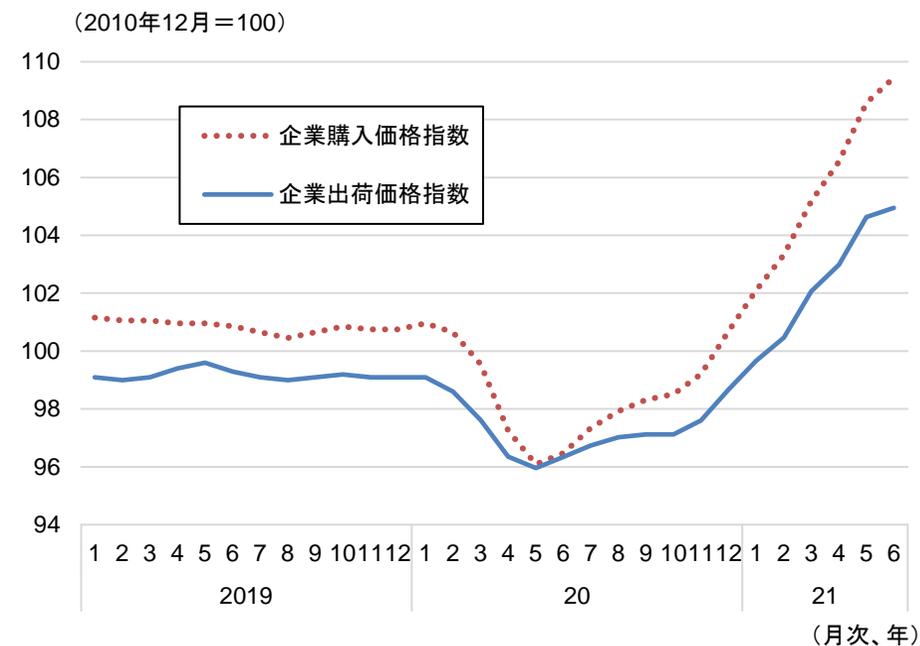
第三に、企業の収益環境の悪化である。部品・原材料の調達価格の急上昇に、製品の出荷価格の上昇が追い付かず、特にサプライチェーンの「下流」に当たる加工組立業種、零細企業でコストの増加が経営を圧迫している(右図)。

品目別生産の推移(前年比)



(出所) 国家統計局

企業購入／出荷価格指数の推移



(出所) 国家統計局

ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 丸山 TEL:03-6733-1630 E-mail:chosa-report@murc.jp

〒108-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

— ご利用に際して —

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください